

## 『『未知への挑戦』とくしま行動計画』及び 「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略』の評価結果の概要

### 1 県政運営評価戦略会議について

政策推進に係る「県民意見の積極的な反映」と「県民目線からのチェック機能の強化」を図るため、県政運営評価戦略会議（以下「戦略会議」という。）を設置している。

この度、戦略会議において、令和元年7月に策定された県政の運営指針である『『未知への挑戦』とくしま行動計画』（以下「行動計画」という。）及び挙県一致で地方創生を推進するための「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」（以下「総合戦略」という。）の施策について、評価を行った。

### 2 評価方法について

#### （1）評価の対象

行動計画に位置付けられた主要施策（91施策）及び総合戦略に位置付けられた具体的な施策（15施策）を対象とした。

#### （2）評価の視点

行動計画は、令和元年度から令和4年度までの4年間の計画期間のうち最終年度である4年目の、総合戦略は、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間のうち3年目の評価として、評価基準を客観化し、「委員からの提言」に重きを置いて評価を実施した。

また、「県民目線・現場主義」の観点から、4年間の計画期間が終了した行動計画の施策や事業に対する「県民意見」を踏まえた上で、「徳島に『にぎわい』を生み出す」というテーマに関する集中議論を行い、県が「今後進むべき方向性」について、委員提言を実施した。

#### （3）戦略会議の開催状況

行動計画及び総合戦略について、全3回開催した。

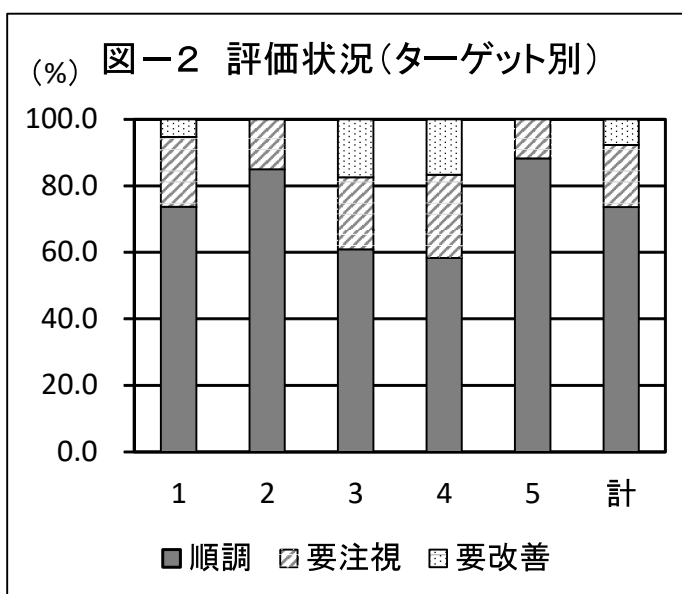
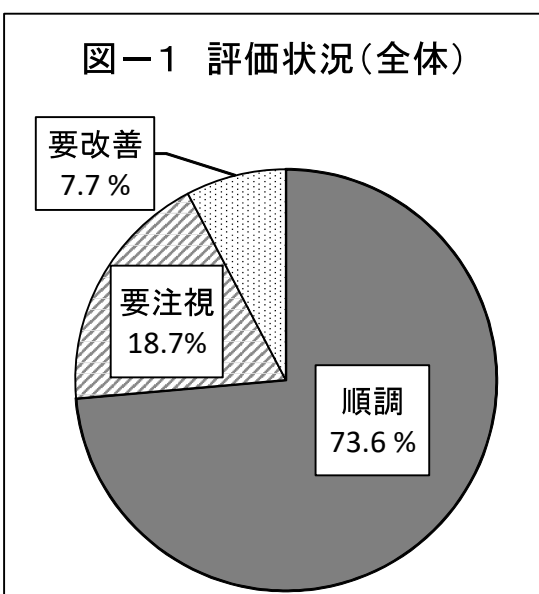
### 3 行動計画の評価結果について

#### (1) 総括

「順調」と評価されたものが67施策(73.6%)、「要注視」と評価されたものが17施策(18.7%)、「要改善」と評価されたものが7施策(7.7%)となった。

表－1 主要施策の評価結果

ターゲット	主要 施策数	評価結果		
		順調	要注視	要改善
1 未来へ雄飛！ 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装	19	14 (73.7%)	4 (21.0%)	1 (5.3%)
2 未来へ加速！ 「強靱とくしま・安全安心」の実装	20	17 (85.0%)	3 (15.0%)	0 (0.0%)
3 未来へ挑戦！ 「発展とくしま・革新創造」の実装	23	14 (60.9%)	5 (21.7%)	4 (17.4%)
4 未来へ発信！ 「躍動とくしま・感動宝島」の実装	12	7 (58.3%)	3 (25.0%)	2 (16.7%)
5 未来へ継承！ 「循環とくしま・持続社会」の実装	17	15 (88.2%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)
計	91	67 (73.6%)	17 (18.7%)	7 (7.7%)
参考 R4年度の評価結果	91	62 (68.1%)	20 (22.0%)	9 (9.9%)



## (2) ターゲット別 提言 (抜粋)

### **ターゲット1 未来へ雄飛！「笑顔とくしま・県民活躍」の実装**

- 移住者が徳島のどんなところに強みを感じ、徳島に来たのか。その意見を集約したあと、その内容が計画に反映されているのかが見えてこない。移住者からこういう意見が多数あったので、こんな目標を立てて、こんな取組をしていきたいというように、移住者からの声を活かしていることが見える計画を策定していただきたい。
- 本社機能移転とサテライトオフィス誘致は、都市近郊の自然豊かな地域も力を入れている。徳島は地理的なハンデがかなりある中で、そのような地域との取り合いに勝とうとするのではなく、いかに徳島の良さを伝え、徳島に来たい人に来てもらえる環境を整えていくかが重要。価値観や働き方の変化に合わせ、弾力的に受入れ体制を構築していただきたい。

### **ターゲット2 未来へ加速！「強靱とくしま・安全安心」の実装**

- 新興・再興感染症の対策については、今までの経験を踏まえて、次はこんな訓練をして、こんなことをしなければいけないという知見のもと、頑張ってやっていることは、県民にも発信し、意識が薄れていかないよう、注意喚起も行っていただきたい。
- 防災士の登録者数に対し、防災士会の会員数は少ない。資格を取っても活用・活躍されていない方が多いため、地域・職場で防災士が活躍できるような工夫が必要である。また、近年は、中高生を対象とした防災士養成講座が実施されているが、中高生の活躍の場は少ないので、特にフォローアップが必要だと思う。

### **ターゲット3 未来へ挑戦！「発展とくしま・革新創造」の実装**

- データサイエンス教育について、学校の指導体制が十分ではないために、生徒たちの学ぶ機会が失われている残念な現状があると感じる。子どもたちのニーズに対応できるように、情報専門の先生を補助する方を民間等から派遣するなど、サポート体制を整えていただきたい。
- デジタル活用の支援は、シニア層向けが目立つが、30代40代の人たちも、自分が子どもの頃にはなかったスマホがあり、自分の子どもとスマホの距離感に悩むなど、情報リテラシーの開きやデジタルタトゥーの理解が足りていない部分があるということを考慮いただき、次の計画を策定していただきたい。

#### **ターゲット4 未来へ発信！「躍動とくしま・感動宝島」の実装**

- ロケの支援件数については、徳島の魅力の発信、受け入れ体勢の整備、ロケ前・ロケ中・ロケ後のサポートに加え、交通の利便性の向上もかなり重要である。それぞれが別個にならない、抱き合わせの方法で発信するなど、効率的に取り組んでいただきたい。
- 地域の伝統行事がコロナ禍で急速に衰え、なくなりつつある今こそ、地域の方に、伝統行事の模様を撮ったビデオを県に提出してもらい、デジタルアーカイブに残すという取組をお願いしたい。

#### **ターゲット5 未来へ継承！「循環とくしま・持続社会」の実装**

- 2050年までに炭素半分にすることを指すのであれば、フォアキャスト的なこの計画では絶対駄目。環境はバックキャスト的に評価しないと、想像以上に破壊が進む。バックキャスト的に見たときに出てきた数字が達成困難に見えても、その達成に向けて県民がどれだけ努力できるかということが重要である。
- 好奇心は自然体験により作られるという話を聞いた。今の子どもたちは、五感で感じる体験の機会が少なくなっているため、子どもたちが自然体験ができる取組を、徳島独自の方針で進めていただきたい。

### **(3) 「徳島に『にぎわい』を生み出す」というテーマに関する提言（抜粋）**

- 観光促進には、交通利便性の向上や移動時間距離の短縮が、必ずついて回る課題である。特に難しいとされる、地方から地方への移動の利便性の向上は、都市からの人流だけではなく、地方間の人流も活発化させることができるため、高速で移動できる交通網・交通体系をしっかりと整備していく必要があると思う。
- 短期的な経済政策は効果を出すことが難しいので、長期的な政策を考えていただきたい。具体的には、義務教育で平均的な力をつけることに力を入れるとともに、徳島がどういう所か勉強する機会を持たせて、人的資源を高めていくことにより、将来の徳島の「にぎわい」や経済活性化につながると思う。
- 若者の雇用については、インターンシップの魅力を向上させることが効果的だと思う。徳島県の魅力は暮らしやすさであるため、企業や自治体は、社会福祉協議会や観光協会等の団体と一緒に、仕事と暮らしの両方をアピールできるインターンシップを提供できれば、他県との差別化が図れると思う。

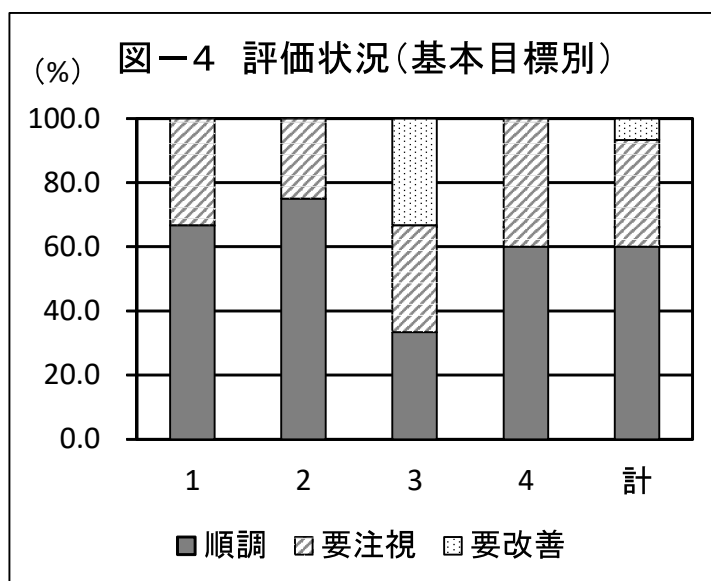
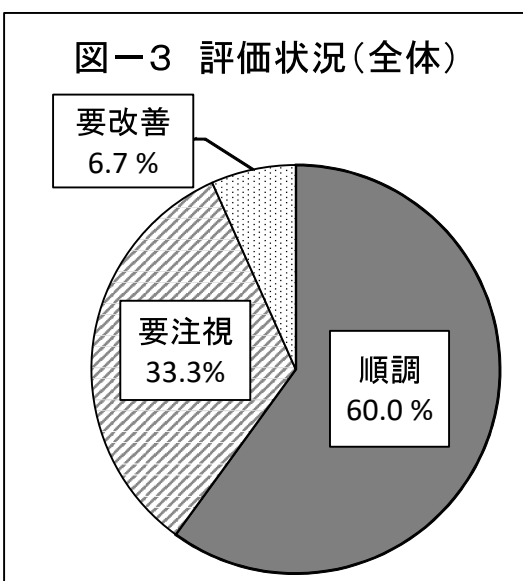
## 4 総合戦略の評価結果について

### (1) 総括

「順調」と評価されたものが9施策（60.0%）、「要注視」と評価されたものが5施策（33.3%）、「要改善」と評価されたものが1施策（6.7%）となった。

表－2 具体的な施策の評価結果

基本目標	具体的な 施策数	評価結果		
		順調	要注視	要改善
1 「未来を担うひとの流れ」づくり	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
2 地域を支える 「魅力的なしごと」づくり	4	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
3 結婚・出産・子育て 「希望がかなう環境」づくり	3	1 (33.4%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)
4 安全・安心 「持続可能な社会」づくり	5	3 (60.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)
計	15	9 (60.0%)	5 (33.3%)	1 (6.7%)
参考 R4年度の評価結果	15	10 (66.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)



## (2) 基本目標別 提言（抜粋）

### **基本目標1 「未来を担うひとの流れ」づくり**

- 県外の就職先を希望する学生は、県外に出るともう県内には帰ってこない。いかに二十歳までの間に、徳島にいた方がハッピーな生活が送れると思ってもらえるか、すなわち小・中・高あたりの段階で、徳島で就職しようと思える魅力を染みこませられるかが非常に重要である。

### **基本目標2 地域を支える「魅力的なしごと」づくり**

- 建設業の人材不足と高齢化は非常に深刻で、若手・女性雇用の拡充が重要なポイント。若手の確保については、ICT活用による労働・身体的な負担軽減や業務の効率化、女性雇用においては、処遇の改善や子育て支援等が解決しないとなかなか人材が集まらない。自社のPRに留まらないインターンシップの企画や、建設業の土俵だけでなく、情報系の学生にもアピールするなどの対策をするといいと思う。

### **基本目標3 結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり**

- 待機児童数はゼロになっているが、働く人は、自宅や職場から遠い園でも、受け入れてくれるとなれば預ける。それが本当に子育てのトータルサポートになっているのか、待機児童数という指標では判断できないので、実情に併せた他の評価指標や情報を整理し、働きたい人が働けるような本当のサポートとなるよう、実情に即した取組を充実させていただきたい。

### **基本目標4 安全・安心「持続可能な社会」づくり**

- 徳島県の指定福祉避難所は、ほとんどが入居型の高齢者施設。近年の災害では、ホテルや旅館を活用する事例が増えているが、徳島県では、ホテルや旅館との災害時協定の締結以降、具体的な協議が止まっている状況のため、動かしてもらいたい。ホテルや旅館の避難所としての利点は非常に多いということ、事業所に理解してもらうことが重要。